



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 ハリマ化成株式会社
 コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 長谷川 吉弘

(氏名) 金城 照夫

TEL 06-6201-2461

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	15,933	△3.8	△18	—	△275	—	△434	—
24年3月期第1四半期	16,556	70.7	1,056	86.0	1,065	80.6	639	149.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 918百万円 (△16.5%) 24年3月期第1四半期 1,100百万円 (562.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△16.75	—
24年3月期第1四半期	24.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	64,574	30,316	44.9
24年3月期	63,428	29,581	44.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 28,966百万円 24年3月期 28,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,500	△9.7	700	△70.8	750	△54.9	200	△80.2	7.71
通期	68,000	△4.9	2,100	△32.6	2,000	△7.4	700	△30.8	26.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	26,080,396 株	24年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	131,196 株	24年3月期	131,120 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	25,949,219 株	24年3月期1Q	25,949,575 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州での財政・金融危機問題の長期化などにより停滞感が長引いており、中国経済も少なからず影響を受け景気減速傾向が継続している状況です。

わが国の経済は、自動車産業などで景気に回復傾向が見られたものの、円高傾向の長期化や海外経済の減速による輸出環境の悪化など、厳しい状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境では、主力原料であるロジンは、中国ゴムロジン価格が安定したことから、前期の価格高騰時に購入した在庫ロジン価格の影響がほぼ解消されつつありますが、販売価格の値下げもあり厳しい状況が続きました。その結果、当期の連結業績につきましては、売上高は159億3千3百万円となり、前年同四半期に比べ6億2千3百万円(△3.8%)の減収となりました。

利益面では、営業損失は1千8百万円で、前年同四半期に比べ10億7千5百万円の減益となりました。経常損失は2億7千5百万円で、前年同四半期に比べ13億4千万円の減益、四半期純損失は4億3千4百万円となり、前年同四半期に比べ10億7千3百万円の減益となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概況は次の通りです。

(樹脂化成品)

印刷インキ用樹脂の需要は、海外においては、欧州経済が金融危機の影響を受け、欧米市場を主力とするローター社(当第1四半期連結累計期間は2012年1月1日～3月31日)が引き続き販売数量を減らすとともに、主力原料のロジン価格が低迷し販売価格が下落したことから業績が大幅に悪化しました。

国内においても、印刷インキ用樹脂は、広告の減少や新聞等の電子化により、低調な状況が続きました。塗料用樹脂は、昨年同期は震災の影響を受け需要が伸びたものの、当第1四半期連結累計期間は平年並みに推移しました。合成ゴム用乳化剤は、タイヤの生産量に支えられ、順調な販売を維持しました。

その結果、当部門の売上高は109億8千6百万円で、前年同四半期に比べ3億8千9百万円(△3.4%)の減収となりました。経常損失は3億5百万円と前年同四半期に比べ13億7千3百万円の減益となりました。

(製紙用薬品)

国内の紙・板紙生産量は前年同期比わずかに増加したものの、国内出荷量は前年同期比で減少しました。その結果、国内の紙・板紙在庫量は増加しており、国内製紙産業は厳しい状況となるとともに、輸入紙は円高を背景に印刷・情報用紙を中心として増加しています。

一方、これまで高い成長を続けてきた中国でも、欧州の金融危機の影響を受け輸出が減少するとともに、国内消費の鈍化により景気が減速しております。その結果、製紙メーカー間の競争がさらに激化し、製紙用薬品の競合もますます激しくなっています。

このような環境下、当部門においては、販売拡大策や収益改善に取り組みましたが、原料価格の下落に伴う販売価格の低下が続いたことや、薬品の使用量が減少傾向にあることから厳しい状況となりました。

その結果、当部門の売上高は28億5千8百万円で、前年同四半期に比べ1億5千3百万円(△5.1%)の減収となりました。経常利益は1億2千9百万円と前年同四半期に比べ3千万円(△19.2%)の減益となりました。

(電子材料)

国内自動車業界は、前年同期比160～170%の好調な生産状況で推移し、輸出も大幅に上回り好調に推移しました。

一方、電子機器業界においては、映像機器の国内出荷台数は前年同期に比べ著しい落ち込みを示しました。カーナビゲーションシステムが自動車業界の好調を受け、前年同期比140%と好調に推移しましたが、民生用電子機器全体としては前年に比べ半減という状況でした。

このような環境下、当部門においては自動車関連製品を中心に受注は回復したものの、製品価格が下落したことから関連子会社において業績が低迷しました。

その結果、当部門の売上高は10億7千3百万円で、前年同四半期に比べ2千万円(△1.9%)の減収となりました。経常利益は3千6百万円となり、前年同四半期に比べ7千6百万円の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は645億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億4千5百万円増加しました。自己資本比率は44.9%となりました。増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が8億6千3百万円増加し、売上高の減少に伴い受取手形及び売掛金が6億7千7百万円減少しました。固定資産では設備投資に伴い有形固定資産が8億3千9百万円増加し、流動負債では原材料仕入の減少に伴い支払手形及び買掛金が1億2千4百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2012年度の世界経済は、欧州の緊縮財政に伴う景気停滞が懸念されますが、中国の成長率は鈍化するものの、新興国の着実な成長が見込まれ、米国経済も回復基調にあるため、景気は緩やかに上向くものと思われま

すが、わが国の経済は、緩やかに回復するものと予想されますが、欧州経済の債務問題が長期化しているとともに原油及び原料ロジン価格の先行きが不透明なことから、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われま

す。このような状況下、ハリマ化成グループは、グループ全体最適を実現させるグローバルな戦略策定が急務であるため、純粋持株会社への移行によるグループ企業管理、資金・人材の適正配分を図ってまいります。また、中立的な観点での事業評価やガバナンスの確立を推進し、グループ力を最大限に発揮することにより、当社グループが名実ともにグローバル企業となるよう、事業を推進してまいります。

なお、当期(2012年4月1日から2013年3月31日)の業績予想につきましては、2012年5月11日の決算発表時の公表数値を修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、2012年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,221,722	6,085,028
受取手形及び売掛金	18,650,875	17,973,680
商品及び製品	4,520,870	4,517,049
原材料及び貯蔵品	5,467,311	5,299,392
その他	2,240,297	2,734,671
貸倒引当金	△125,910	△131,245
流動資産合計	35,975,167	36,478,577
固定資産		
有形固定資産		
土地	10,460,346	10,600,333
その他(純額)	11,087,260	11,786,787
有形固定資産合計	21,547,607	22,387,121
無形固定資産		
その他	967,289	962,619
無形固定資産合計	967,289	962,619
投資その他の資産		
その他	4,953,534	4,760,836
貸倒引当金	△14,915	△14,915
投資その他の資産合計	4,938,618	4,745,921
固定資産合計	27,453,516	28,095,662
資産合計	63,428,684	64,574,239

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,412,430	7,287,522
短期借入金	9,082,882	9,435,747
1年内返済予定の長期借入金	1,633,768	1,597,121
未払法人税等	656,859	317,240
役員賞与引当金	60,440	77,360
その他	3,864,342	4,490,649
流動負債合計	22,710,724	23,205,641
固定負債		
長期借入金	7,482,242	7,327,763
長期預り保証金	1,065,469	1,047,789
退職給付引当金	886,915	897,314
役員退職慰労引当金	435,068	436,658
資産除去債務	45,439	45,592
その他	1,221,580	1,296,818
固定負債合計	11,136,715	11,051,937
負債合計	33,847,440	34,257,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,379
利益剰余金	9,889,682	9,273,391
自己株式	△61,933	△61,975
株主資本合計	29,585,079	28,968,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220,640	94,048
為替換算調整勘定	△1,560,538	△96,122
その他の包括利益累計額合計	△1,339,897	△2,074
少数株主持分	1,336,061	1,349,987
純資産合計	29,581,244	30,316,660
負債純資産合計	63,428,684	64,574,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)
売上高	16,556,952	15,933,306
売上原価	13,041,234	13,178,379
売上総利益	3,515,717	2,754,926
販売費及び一般管理費	2,459,524	2,773,797
営業利益又は営業損失(△)	1,056,192	△18,870
営業外収益		
受取利息	8,168	11,993
受取配当金	28,447	28,573
不動産賃貸料	33,119	32,010
為替差益	61,356	—
その他	37,236	56,325
営業外収益合計	168,327	128,903
営業外費用		
支払利息	112,225	100,012
為替差損	—	258,906
その他	47,161	26,882
営業外費用合計	159,386	385,801
経常利益又は経常損失(△)	1,065,134	△275,768
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,065,134	△275,768
法人税、住民税及び事業税	301,221	148,492
法人税等調整額	46,947	40,144
法人税等合計	348,169	188,637
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	716,965	△464,405
少数株主利益又は少数株主損失(△)	77,768	△29,760
四半期純利益又は四半期純損失(△)	639,196	△434,645

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	716,965	△464,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,695	△126,572
為替換算調整勘定	400,141	1,509,713
持分法適用会社に対する持分相当額	10	△20
その他の包括利益合計	383,456	1,383,120
四半期包括利益	1,100,421	918,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,010,638	903,178
少数株主に係る四半期包括利益	89,783	15,536

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に対する売上高	11,375,276	3,011,953	1,094,080	15,481,310	1,111,465	16,592,775	△35,823	16,556,952
セグメント間の内部売上高又は振替高	50,407	144,528	—	194,936	17,234	212,170	△212,170	—
計	11,425,684	3,156,482	1,094,080	15,676,247	1,128,699	16,804,946	△247,993	16,556,952
セグメント利益又は損失(△)	1,068,928	160,492	△40,259	1,189,161	△64,984	1,124,177	△59,042	1,065,134

II 当第1四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に対する売上高	10,986,010	2,858,917	1,073,666	14,918,594	1,032,633	15,951,227	△17,921	15,933,306
セグメント間の内部売上高又は振替高	133,192	144,079	—	277,272	8,948	286,221	△286,221	—
計	11,119,203	3,002,996	1,073,666	15,195,866	1,041,581	16,237,448	△304,142	15,933,306
セグメント利益又は損失(△)	△305,062	129,635	36,037	△139,389	△40,674	△180,064	△95,704	△275,768

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2013年3月期 第1四半期決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2012/3期		2013/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
連結	4.8億円	24.6億円	7.8億円	20.0億円

2. 減価償却実施額

	2012/3期		2013/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
連結	3.9億円	19.3億円	4.5億円	20.0億円

3. セグメント別売上高

	2012/3期		2013/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	113.7億円	499.2億円	109.8億円	475.0億円
製紙用薬品	30.1億円	132.3億円	28.5億円	129.0億円
電子材料	10.9億円	47.3億円	10.7億円	52.0億円
その他	11.1億円	36.4億円	10.3億円	24.0億円

4. 海外売上高

	2012/3期		2013/3期	
	第1四半期(実績)		第1四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	30.3億円	18.4%	30.1億円	18.9%
アジア	18.9億円	11.4%	17.9億円	11.3%
欧州他	34.3億円	20.7%	34.0億円	21.4%
合計	83.6億円	50.5%	82.1億円	51.6%